

4 社会教育の充実

基本目標2 自ら学び、学びにより人と人とがつながり、まちづくりに寄与する教育の推進

個人や地域が抱える課題やニーズが多様化、複雑化する状況を踏まえ、関係機関と連携を密にし、現代的課題や社会的課題に対応した学習機会を充実するとともに、学習した成果を広く活用する仕組みを整え、地域の絆を大切にしたまちづくりを進めます。

【令和5年度当初予算の主な事業】

(1) 地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みづくり

○ 佐伯高等学校の魅力化支援（中山間地域振興事業）

2,586万3千円（昨年度：1,824万8千円）

特色ある部活動の活動支援を始め、下宿先の確保や公営塾の開催など、地域一体となった高校の存続や魅力化に関する取組を行います。

○ コミュニティ・スクールの全校導入（学校教育振興一般事業・地域学校協働活動事業）

110万3千円（昨年度：48万6千円）

令和5年度に全小中学校に学校運営協議会を設置し、熟議の実施等コミュニティ・スクールの充実に向けた取組を行います。

○ 地域学校協働活動の推進（地域学校協働活動事業）

1,632万7千円（昨年度：1,620万5千円）

幅広い層の地域住民の参画を得て、学校を核とした地域づくりを進めるため、地域学校協働本部の活動を推進します。

(2) 人づくりとまちづくり活動の推進

○ 大野地域の拠点性を高めるまちづくり（多世代活動交流センター管理運営事業）

1億9,724万円

市民の活動と交流の拠点として、すべての世代を対象に、子育て環境の向上、生涯学習の振興、スポーツの推進及び福祉の増進を図るため、民間のノウハウを活かした施設の一体的な運営を行います。

○ 吉和地域の拠点性を高めるまちづくり（市民センター管理運営事業）

2,882万1千円

令和5年5月に供用開始し、地域運営組織による指定管理がスタートする「吉和ふれあい交流センター」を拠点に、生涯学習の推進や、まちづくり活動の支援に加え、地域内外との交流促進などに取り組みます。

○ スマホ教室等の実施（市民センター活動推進事業）

23万8千円

デジタルデバイドの解消を図るため、市民センターでスマートフォン教室等を開催します。

○ **市民センターのリニューアル（市民センターリニューアル事業）**

3 億 960 万 6 千円（昨年度：1,651 万円）

生涯学習やまちづくりの拠点である市民センターを市民が安全、快適に利用できるよう、施設のバリアフリー化や耐震化などの実施設計や改修工事を行います。

○ **生涯学習推進方針の策定（生涯学習推進事業）**

386 万 1 千円

地域・学校・家庭等を取り巻く環境及び社会情勢が変化する今日において、生涯学習に求められる役割や位置付けを整理し、推進の方向性に関する骨子を策定します。